

『今こそ DEVANDA 有機農業』

放射性物質を作物に移行させない有機栽培技術について
講演会のお知らせ

～ 作物への移行を抑えて、作り続けよう ～

- 東北・関東の大地に降下した放射性物質が消失するためには、長い年月を要する。しかし、その地でも農産物の生産を続けなければならない。有機農業者も作り続けていくために、有機農業が標榜し、誇りにしてきた「安心・安全」をしっかりと取り戻したい。自信と確信をもって生産を続けたい。
- 農地は汚染されていたとしても生産する有機農産物には、放射性物質を出来るだけ移行させない有機栽培の方法についての講演会を11月24日に仙台で開催します。メイン講師は、新潟大学の野中昌法教授を予定しています。野中教授は、土壌学の専門で、今回の原発事故にあっても放射性物質の挙動について調査・研究を続けています。皆様多数の参加をお待ちしております。

と き : 11月24日(土) 13:30~17:00

と ころ : 東京エレクトロンホール宮城

(宮城県民会館) 6階 601大会議室

参加料 : 500円(資料代として)

日程

開場 13:00

開会挨拶 13:30 : 日本有機食品認定連絡協議会 会長 加藤 和男

講演 13:40~15:40

**「土壌中及び作物体における放射性物質の挙動及び
放射性物質を作物に移行させない有機栽培技術について」**

講師 : 新潟大学 教授 野中昌法氏

質疑応答 16:00~16:40

閉会挨拶 17:00

「DEVANDA」とは・・・英語で「Do It Eco-Vital Action Network for Dynamic Agri-native」の頭文字をとった造語で、「環境を大切にし、いきいきとした農林水産業を実現するために行動するネットワーク」という意味です。1993年に「大地を守る会」が提唱したテーマです。(「大地を守る会」ホームページより)

主催 日本有機食品認定連絡協議会

後援 宮城県 福島県

有機 JAS 登録認定機関協議会

協力 みやぎ有機農業ネットワーク

NPO法人環境保全米ネットワーク

公益財団法人自然農法国際研究開発センター

日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会 (JONA)

株式会社アファス認証センター NPO法人日本有機農業生産団体中央会 他

問合せ先

NPO 法人環境保全米ネットワーク
〒980-0011

仙台市青葉区上杉 1-16-3 JA ビル別館 5F

TEL 022(261)7348 担当高橋、福澤

E-mail okome@epfnetwork.org

「今こそ DEVANDA 有機農業」参加申込書

氏名（申込者名）	住所・連絡先	所属（団体名）
	〒 TEL FAX	
	〒 TEL FAX	
	〒 TEL FAX	

※事前質問記入欄

放射性物質に関連するご質問がありましたらご記入ください。公演当日、優先して回答いたします。
質問例) 放射性物質低減対策として〇〇を実践しているが、効果があるのだろうか？

申込み期限：2012年11月9日（金）

申込み先：NPO 法人環境保全米ネットワーク FAX：022-261-7488

会場案内図

東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館） 地下鉄「勾当台公園駅」公園2出口から徒歩5分
住所：仙台市青葉区国分町3-3-7 TEL：022-225-8641

